

仕 様 書

- 1 件名
入試システム用クラウドサービス業務

- 2 提供内容

機能	数量
大学法人用入試システム（次ページ以降システムの要件のとおり）	1

- 3 履行期間
2023年10月1日から2026年9月30日

- 4 連絡先
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学事務局
企画室入試グループ（担当：野山・稲田）
電話（082）830-1503

1 システムの基本要件

1-1. 入試システムは以下の機能を有すること。各機能は2以降に記載。

- ・問合せ者情報管理
- ・志願者受付管理
- ・入試成績管理
- ・合否判定
- ・入学手続管理
- ・大学入学共通テスト管理
- ・入試締め処理
- ・入試広報

1-2. 入試システムはクラウドサービスとして提供されること。なお、クラウドサービスは日本国内のデータセンターに構築すること。

1-3. 入試システムの操作はブラウザで行えること。対応ブラウザはMicrosoft Edge, Mozilla Firefox, Google Chrome とし、各ブラウザの新バージョンに対応すること。

1-4. 入試システムはデータベースで取り扱う情報を管理すること。データベースに関連した以下の要件を備えること。

- ・ユーザがデータベースの項目間の関連付けを行うことなく、容易に帳票作成が行えるツールを保持していること。
- ・同一データベース内に、本番（運用）環境以外に、複数のテスト環境が保持できること。
- ・データの利便性を図るため、データベースの内容が利用者に公開できること。また、本システムのデータベースの構造等仕様を明記した資料を納入時に本学に提供すること。
- ・異なる入学年度の志願者を同一テーブルで管理可能であること

1-5. UNICODE (UTF-8) に対応していること。また、「崎」等の JIS 第三水準漢字の入力に対応可能とすること。

1-6. 帳票出力に関してはテキストファイル(CSV)および PDF, EXCEL による出力が可能であること。

1-7. データ入力は、画面からの直接入力の外、テキスト形式(テキストファイル(CSV)形式等)または EXCEL 形式で作成したデータによる一括登録が可能なシステムであること。各機能が管理する情報の一括登録時には、並び順を自由に変更可能でありパターン化できること。そのパターン化したフォーマットを他ユーザと共有可能であること。

1-8. 各機能で入出力を行う情報の一覧が揃っており、それぞれについてテキストファイル(CSV)項目を明記した資料を納入時に本学に提供すること。

1-9. 学部・学科増設、改組についてもパッケージの標準機能で柔軟に対応できること。

1-10. 入試システムで保持するデータは任意の年数保存ができること。

1-11. 本システムは、操作性に十分な配慮がされ、わかりやすく構成されていること。大学独自ヘルプも保持できること。

1-12. システムの利用画面に関する以下の要件を満たすこと。

- ・メニューパターンを登録し、それぞれ利用機能を設定できること。権限制限することで、メニュー単位でボタン、タブなど画面操作に関する権限設定も行えること。
- ・すべての機能にログイン ID, ユーザ名, 機能名称, 機能 ID が表示されること。本番環境以外にログインしていることが一目でわかるように環境名や画面色を変更させること。
- ・機能名の配置場所などは大学独自に設定可能であること。

2 機能詳細

2-1 問合せ者情報管理

2-1-1. 問合せ者区分を管理することが可能であること。

- 2-1-2. 問合せ者が利用する募集媒体管理が可能であること。
- 2-1-3. 募集媒体別人数表, 応募種別別人数表, 募集媒体別費用対効果表, 問合せ者統計表を出力することが可能であること。また, 集計範囲の指定に使用する分類コードの桁数(大・中)を管理することが可能であること。
- 2-1-4. 募集媒体の情報は, 募集媒体コード, 業者コード, 募集媒体名称, 募集媒体カナ名称, 募集媒体略称が管理可能であること。また, 募集媒体一覧の作成(テキストファイル(CSV)を含む)および印刷が可能であること。
- 2-1-5. 応募種別(問合せ者の応募方法や手段)に関する情報を管理する事が可能であること。また, 応募種別一覧の作成(テキストファイル(CSV)を含む)および印刷が可能であること。
- 2-1-6. 問合せ情報管理機能
以下の情報の管理が可能であること。
志願者番号, 氏名(カナ, ローマ字, Web 上公開用氏名), 入試対象年度, 入試対象学期 NO, 生年月日, 性別, 国籍, 本籍, 出身地, 地区, 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, 郵便番号, 住所(漢字, カナ), E-MAIL アドレス, 連絡先, 出身校等情報(出身校コード, 出身校名称, 出身校課程, 出身校学科, 出身校入学年, 卒業年月【見込】, 浪人年数), 保証人情報(保証人種別, 保証人続柄, 氏名(漢字, カナ), 郵便番号, 住所(漢字, カナ), 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, E-MAIL アドレス, 連絡先), 募集管理(枝番, 問合せ年度, 問合せ者区分, 問合せ日付, 募集媒体, 応募種別, 問合せ対応日付, 問合せ対応者氏名, 問合せ時学年, 問合せ内容, 問合せ時希望学科組織)。
- 2-1-7. 問合せ情報は個別登録とテキストファイル(CSV)指定による一括登録が可能であること。
- 2-1-8. 問合せ情報一覧の作成(テキストファイル(CSV)を含む)および印刷が可能であること。
なお, 一覧作成時に出身地, 出身校, 募集媒体, 問合せ日付を指定することができ, 過年度の情報も出力することが可能であること。
- 2-1-9. 問合せ者検索機能
問合せ年度, 問合せ者番号, 問合せ者区分, 問合せ日付, 入試年度, 入試対象学期 NO, 募集媒体, 応募種別, 出身校コード, 出身校学科, 国籍, 本籍, 出身地, 地区から検索が可能(部分一致検索を含む)であること。
- 2-1-10. 問合せ者向けの宛名ラベル, 募集媒体別人数表を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。
- 2-1-11. 当年度の問合せ情報の中で条件を選択して突合せを行い, 同一人物の可能性のある問合せ者の一覧を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。
- 2-1-12. 同一の可能性のある問合せ者を検索し, 同一人物と判断した場合は, 問合せ情報を統合することが可能であること。
- 2-1-13. 統合した問合せ情報を解除することが可能であること。
- 2-1-14. 問合せ者と志願者の突合せを行い, 同一人物の可能性のある問合せ者の一覧を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。
- 2-1-15. 問合せ者の情報と志願者の情報を突合わせ, 同一人物の場合は問合せ者データを志願者台帳へ転記することが可能であること。
- 2-1-16. 当年度, または過年度の問合せ者情報から, 問合せ者統計表の作成(テキストファイル(CSV)も含む), 期間内であれば過年度の問合せ者統計表の出力も可能であること。
- 2-1-17. 募集費用を管理することが可能であること。

2-2 志願者受付管理

2-2-1. 入試要項管理機能

以下の情報の管理が可能であること。

段階選抜, 選抜段階数, 希望学科数, 募集人員, センター学部, 調整後集計上限値, 入学予定日, 受験資格(試験場チェック, 卒業年月チェック, 卒業年月下限, 年齢チェック, 年齢上限, 評定平均値チェック, 評定平均値下限, 教科情報(教科番号, 名称, 略称), 選考科目, 加算配点, 必要最低点, 共通テスト大問別請求, 高得点順位, 試験情報(日程, 採点方法, 素点満点, 配点, 換算点上限値, リスニング(素点満点, 配点), 選択時期, 採点必須/任意, 自動採点, 成績公開可否, 偏差値計算, 成績集計, 欠席者の扱い, 段階選抜回数)

2-2-2. 得点について整数3桁, 小数2桁で管理が可能であること。

2-2-3. 任意の試験について, 傾斜配点の設定が可能であること。

2-2-4. 教科, 科目や得点の情報の登録・更新・削除を行うことが可能であること。また, 入試要項の情報は, 入試年度, 入試学期, 入試種別, 学科組織毎に登録を行うことが可能であること。

2-2-5. 入試年度, 入試学期, 入試種別, 学科組織を指定して, 推薦指定校情報を管理することが可能であること。

2-2-6. 一つの志願者番号に対して, 複数の受験番号を管理(併願)することが可能であること。併願希望順位を設定可能であること。

2-2-7. 志願者管理機能

以下の情報の管理が可能であること。

入試年度, 入試学期 NO, 志願者番号, 氏名(漢字, カナ, ローマ字), 生年月日, 性別, 国籍, 本籍, 出身地, 地区, 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, E-MAIL アドレス, 住所等情報(郵便番号, 住所, 連絡先, 連絡先電話番号), 併願情報(受験番号, 入試年度・学期, 入試種別, 第一希望学科組織, 合否情報, 試験場, 共通テスト試験場, 共通テスト受験番号, 共通テスト発行回数, 欠格理由, 出身校情報(出身校コード, 出身校名称, 出身校課程, 出身校学科, 共通テスト出身校学科, 出身校入学年, 卒業年月(見込), 評定平均値, 浪人年数), 保証人情報(保証人種別, 保証人続柄, 氏名(漢字, カナ, ローマ字), 郵便番号, 住所(漢字, カナ), 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, E-MAIL アドレス, 連絡先), 問合せ者情報(枝番, 問合せ年度, 問合せ者区分, 問合せ日付, 募集媒体, 応募種別, 問合せ対応日付, 問合せ対応者氏名, 問合せ時学年, 問合せ内容, 問合せ時希望学科組織)

2-2-8. 受験者管理機能

以下の情報の管理が可能であること。

受験番号, 志願者番号, 氏名(漢字, カナ, ローマ字), 生年月日, 性別, 国籍, 本籍, 出身地, 地区, 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, E-MAIL アドレス, 住所等情報(郵便番号, 住所, 連絡先, 連絡先電話番号), 試験情報(第一希望学科組織, 第二希望学科組織, 試験場, 共通テスト試験場, 共通テスト受験番号, 共通テスト発行回数, 成績公開, 入学時学年, 入学時セメスタ, 入学種別, 就学種別, 志願者登録日付, 教科情報(教科番号, 選択教科条件, 採点必須, 教科, 科目), 希望学科情報(希望順位, 学科組織), 出身校情報(出身校コード, 出身校名称, 出身校課程, 出身校学科, 共通テスト出身校学科, 出身校入学年, 卒業年月(見込), 評定平均値, 浪人年数), 保証人情報(保証人種別, 保証人続柄, 氏名(漢字, カナ, ローマ字), 郵便番号, 住所(漢字, カナ), 電話番号, 携帯電話番号, FAX 番号, E-MAIL アドレス, 連絡先)

2-2-9. 問合せ者, 及び志願者の出身校情報として任意の地区情報の管理が可能であること。

2-2-10. ブラウザ上で志願者情報の個別修正が可能であること。

- 2-2-11. 志願者、および受験者数の日計表を出力することが可能であること。また、入試種別、学科組織を指定可能であること。
- 2-2-12. 入試教室、試験時間割、試験教室割当、志願者試験教室割当を管理することが可能であること。
- 2-2-13. 所属学科組織、入試要項、推薦指定校情報、受験番号付番条件、志願者情報、併願者情報、入試教室情報、試験教室割当条件、試験教室別志願者情報、志願者宛名ラベル、受験番号札の一覧を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。
- 2-2-14. 一覧の出力時に抽出条件、抽出項目を指定して出力(テキストファイル(CSV)も含む)することが可能であること。
- 2-2-15. 推薦指定校向け通知書について PDF 及び Excel での出力が可能であり、推薦決定・停止の各種通知書、推薦依頼書の文面については自由に設定できる機能を有すること。

2-3 入試成績管理

- 2-3-1. 入試採点情報(得点、および評価)、欠席者、志願者調整点は個別登録とテキストファイル(CSV)指定による一括登録が可能であること。
- 2-3-2. 複数学科で同一志願者を判定する際に、受験番号を分けても採点結果をそれぞれの受験番号に反映できること。
- 2-3-3. 志願者調整点は偏差値集計点に対する調整点の登録が可能であること。
- 2-3-4. 成績集計は入試成績台帳の得点(換算点)をもとに偏差値計算を行うことが可能であること。また、換算計算した得点と偏差値を、志願者が受験段階で集計することが可能であること。
- 2-3-5. 科目点分布表は刻み点を指定して、科目毎の得点の人数が集計することが可能であること。
- 2-3-6. 集計点分布表は得点刻み毎に、受験者の集計点を指定した人数を集計することが可能であること。
- 2-3-7. 入試採点簿、成績未登録者情報、成績登録エラー情報、成績情報、科目別標準偏差(受験教科の科目別に、加算配点、標準偏差値、最低得点、最高得点、平均点を表示)の一覧作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。
- 2-3-8. 入試区分毎に欠席者を一覧で出力可能であること。

2-4 合否判定機能

- 2-4-1. 合否データに関しては個別登録とテキストファイル(CSV)指定による一括登録が可能であること。また、席次または得点指定により受験者の合否を一括設定することが可能であること。さらに、登録された合否結果をブラウザ上で修正することが可能であること。
- 2-4-2. 成績集計の結果をもとに志願者の第1希望学科組織についての合格ラインを判定することが可能であること。
- 2-4-3. 合否判定資料を出力する際、氏名、受験番号、出身校を非表示にすることが可能であること。
- 2-4-4. 複数の入試種類をグループ設定することができ、併願した情報(席次、集計点、合否)を確認できること。合否判定時には併願情報を加味して、複数合格するかもしれないかを画面で選択できること。
- 2-4-5. 合否判定資料、入試発行管理台帳、合否通知書、出身校向け合否通知書の一覧を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。また、Excel や PDF で出力できること。
- 2-4-6. 受験者向け、および受験者の出身校向けの合格通知書(合格通知書、補欠通知書、不

合格通知書)の文面については自由に設定できる機能を有すること。

2-4-7. 追加合格事務に係る他大学への問合せ用資料および他大学からの問合せに対する確認用資料の作成機能を有すること。

2-4-8. 窓付き封筒に対応した志願者向けの通知書および出身校向けの通知書が発行可能であること。

2-5 入学手続管理機能

2-5-1. 手続別入学手続, 個人別入学手続, 入学辞退者に関しては, 個別登録とテキストファイル(CSV)指定による一括登録が可能であること。

2-5-2. 入学許可書の文面については自由に設定できる機能を有すること。

2-5-3. 入学手続日計表は, 入試学期, 入試種別, 学科組織指定して, 入学手続を行った志願者の日計表(累計も含む)を出力することが可能であること。

2-5-4. 入学手続者の一覧, 入学許可書を作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。

2-5-5. パッケージのオプションとして, 合格者に対して入金データの取り込みや免除金の割り当てが可能であり, 入試システムに入金状況を連携できるツールを製品として保持していること。

2-6 大学入学共通テスト管理機能

2-6-1. 入試学期, 入試種別を指定して, 志願者の成績を大学入試センターに請求するための成績請求書と成績請求人数等内訳票を出力することが可能であること。

2-6-2. 大学入試センターから提供された志願者の成績テキストファイル(CSV)をチェックしながら登録し, 共通テスト成績入力チェックリストを出力することが可能であること。

2-6-3. 大学入試センターから提供された志願者の出願状況テキストファイル(CSV)をチェックし, まとめて共通テスト併願台帳に登録することが可能であること。

2-6-4. 共通テスト併願状況一覧, 共通テスト出願・合格状況請求書の作成(テキストファイル(CSV)も含む)および印刷が可能であること。

2-6-5. 大学入試センター向けの, 自大学の合格者等に関するテキストデータおよび「合格者データ送付書」を出力することが可能であること。

2-6-6. 志願者の他大学における合格状況等に関する資料を大学入試センターに請求するための出願・合格状況請求書を出力することが可能であること。

2-6-7. 自大学の志願者の中から, 他大学を併願し, かつ他大学へ合格している受験生の入学手続状況を確認するための共通テスト入学手続状況情報交換票を出力することが可能であること。

2-6-8. 大学入試センターから提供された志願者の合格状況テキストファイル(CSV)をチェックし, 一括で志願者台帳, 共通テスト併願者台帳に登録することが可能であること。

2-6-9. 大学入試センターの制度改正があった場合に標準機能として無償対応版を提供すること。

2-7 入試締め処理

2-7-1. 入学手続者データを在学生として教務システムに流すことが可能であること。(一元管理されていること。)

2-7-2. 入学手続きをしていない学生及び入学辞退者については, 教務システムに流さないといった指定が可能であること。

2-8 入試広報機能

- 2-8-1. 高校卒業年別の志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数を出力することが可能であること。
- 2-8-2. 出身校別の志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数を出力することが可能であること。
- 2-8-3. 評定平均値ランク別の志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数を出力することが可能であること。
- 2-8-4. 国籍, 地区, 出身地, 出身校の所在地別の志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数を出力することが可能であること。
- 2-8-5. 既卒年数別および出身地別の志願者数, 受験者数, 合格者数, 入学者数を出力することが可能であること。
- 2-8-6. 統計用データ (志願者基本情報, 志願者成績情報, 志願者合否情報, 志願者手続情報) を出力することが可能であること。

3 導入条件

- 3-1. 本学と SINET L2VPN 経由で接続する構成をとり, セキュリティを確保すること。
- 3-2. 入試システムで確定した入学者データは, 本学で運用予定の教務兼就職システムへ連携が可能であること。また, 本学で運用予定の教務兼就職システムと共通のデータベースでの運用が可能であること。
- 3-3. IR システムやラーニングアナリティクスシステムとデータ連携機能を有していること。データベースソフトウェアは汎用的なもの (PostgreSQL など) を選定し, そのデータベース構造を開示したうえで, 本学の設備からデータベースへの接続 (ODBC 接続) が可能なものであること。
- 3-4. 2024 年度入試が運用できるよう, 本学職員に対して全 6 回程度の導入支援教育を実施すること。
- 3-5. 本学職員に対して製品マニュアルを提供すること。
- 3-6. 本システムは 2024 年度 一般選抜 (2024 年 2 月頃) からの利用開始を想定し, 本業務の立会確認工数 (3 回) を含めること。なお, 過年度のデータ移行作業は含まないものとする。
- 3-7. 本学情報セキュリティポリシーに準拠すること。本学のクラウドサービスチェックリストによりチェックすること。当該チェックリストは別途配付する。なお, セキュリティ対策規定は本学 Web サイトに提示しており, 実施基準, 対策手順は契約後に提示する。
- 3-8. 入試システムを提供するクラウドは本学のネットワークが利用する SINET に直結したネットワークを利用して提供すること。また, クラウド利用時には, 本学から閉域網で, サービス単位で暗号化通信 (https) ができること。

4 サポート条件

- 4-1. 保守支援体制が整備されており, パッケージ専用のサポートセンターを有すること。
(サポート時間: 平日 9:30~12:00, 13:00~17:30)
- 4-2. 入試機能の運用, 活用にあたり, 必要なタイミングで運用立会 (年 3 回程度) を実施する。(例 学校推薦型選抜, 一般選抜, 入学者確定処理時期を想定。)
- 4-3. デンターセンターのメンテナンスで, 本入試システムのサービスが停止する場合は, 本学担当者に連絡すること。また, 入試システム使用中は, サービスを停止しないこと。
- 4-4. クラウドのリソース確認を定期的に行い, リソース不足による障害が発生する前に適切な対応を行うこと。
- 4-5. データセンターでは, 基本ソフトやミドルウェアのセキュリティパッチが適切に与えられ, ウイルス対策を適切に行うこと。

4-6. 将来的に本入試システムを廃止，又は新たなシステムに移行する場合は，本入試システムからデータを抽出し，本学担当者に提出すること。また記録メディアを完全消去すること。

5 導入実績

5-1. 本入試システムは，国公立大学に20件以上の納入実績のあるパッケージソフトウェアにより構築すること。

5-2. 導入後少なくとも3年以上の稼働実績があり，大きなトラブルを起こしていないこと。

5-3. 本学が導入しているインターネット出願システム（株式会社ディスコ製）とテキストファイル(CSV)による連携実績を同一の商標で10件以上有するパッケージソフトウェアにより本入試システムを構築すること。